

残席わずか

## 生成AI活用に関する法律問題とリスク管理【オンラインライブ】（4123271）

本セミナーでは、生成AIに関する基礎知識を説明した上で、生成AIを自社の業務／社内システムに利用する場合と自社サービスとして提供する場合に分けて、生成AIに関する法律知識を実践的な形で習得できるよう解説します。

|          |  |
|----------|--|
| 開催日時     | 2023年12月18日(月) 14:00-17:00ライブ配信  |
| カテゴリー    | 共通業務（契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理）・セキュリティ・システム監査 <b>専門スキル</b>                            |
| DXリテラシー  | How(データ・技術の活用)：留意点   |
| 講師       | 尾城亮輔 氏<br>(尾城法律事務所 弁護士)<br>ITストラテジスト、ソフトウェア開発技術者、基本情報処理技術者<br>経済産業省「AI・データ契約ガイドライン」検討会 作業部会構成員 |
| 参加費      | J U A S 会員/ITC：22,500円 一般：28,700円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）<br>【受講権利枚数1枚】                           |
| 会場       | オンライン配信（指定会場はありません）  |
| 対象       | 情報システム部門のAI担当者、管理者 <b>初級</b>   |
| 開催形式     | 講義   |
| 定員       | 25名  |
| ITCA認定時間 | 3  |

## 主な内容

## ■受講形態

ライブ配信（Zoomミーティング）【セミナーのオンライン受講について】

## ■テキスト

開催7日前を目途に発送→PDFにて配布

※開催7日前から開催前日までにお申込の場合、テキストの送付は開催後になることがあります。ご了承ください。

## ■開催日までの課題事項

特になし

Chat GPT（GPT-4）をはじめとする生成AIが大きな注目を集めています。

企業においても、自社の業務やビジネスに生成AIを利用することを、具体的に考えるようになってきているのではないのでしょうか。

しかし、生成AIには著作権の問題、情報流出の問題なども指摘されているところであり、具体的な利用を進めるに当たって、こういった問題点を整理しておく必要性が高いといえます。

本セミナーでは、生成AIに関する基礎知識を説明した上で、生成AIを自社の業務／社内システムに利用する場合と自社サービスとして提供する場合に分けて、生成AIに関する法律知識を実践的な形で習得できるよう解説します。

## 1 生成AIに関する法律の基礎知識

## (1) 法律家から見たAI

- ・「AIの法律」の基本モデル
- ・生成AIは、他のAIと何が違うのか

## (2) 学習データの著作権

- ・著作権法30条の4
- ・「AI学習に使用することを禁止します」は有効か

## (3) 個人情報、情報流出の問題

- ・個人情報保護法の基礎知識
- ・秘密保持契約、不正競争防止法と生成AI

## (4) AIの品質問題

- ・「AIは平気で嘘をつく」
- ・「AIの嘘」の責任は誰が取るのか（取らないのか）

## (5) AI倫理の問題

### 2 生成AIを自社の業務フロー／社内システムに組み込む場合

#### (1) 事例

事例1 社内規則を調べるためのチャットツールを作りたい

事例2 コールセンター業務を生成AIでサポートさせたい

#### (2) 企業として注意すべきことは何か

#### (3) 生成AIサービス提供会社の利用規約には何が書いてあるか

### 3 生成AIやその出力結果を自社サービスとして提供する場合

#### (1) 事例

事例1 自社のECサイトで、生成AIを使っておすすめ商品を表示したい

事例2 生成AIを使った作画支援ツールを販売したい

#### (2) 企業として注意すべきことは何か

- ・ 悪意あるユーザーに対する対処
- ・ AIが間違っただけで情報を提供してしまった
- ・ AI生成物による著作権侵害

#### (3) 利用規約作成のポイント